



ボランティアセンターだより

2020年2月 No. 135号

助けられ上手講座 南あわじの中心で「助けて」とさげぼう！

「助け合いが大事」と言われるこの時代。“誰かを助けてあげよう”という気持ちはあっても、“誰かに助けられたい”と思ったことはありませんか？ゲームをしながら、本当の「助け合い」について考えてみたいと思います。

日時 **2月21日** (金) 14時～15時30分

場所 中央公民館 研修室

内容 『**助けられ上手**』ってどういうこと？

南あわじ市地域包括支援センター 第1層生活支援コーディネーター 玉久保友里

南あわじ市社会福祉協議会 第2層生活支援コーディネーター 谷本 俊江

「新・助け合い体験ゲーム」

カードを使って行う「助け合い」の模擬体験ゲームです。

締切 2月14日 (金)



あなたは「助けて」って言える相手いますか？



ボランティアに関する意見交換会

日時: **2月13日** (木) 14時～16時

場所: 旧緑庁舎 2階 203会議室

対象: 施設などのボランティア担当者、
実習担当者、学校関係者 など

ここ数年ボランティア登録者や地域での活動者が増加していることから、活動先の幅も広がっています。そこで、ボランティアセンターの現状をお伝えするとともに、ボランティアを受け入れているみなさまから、活動に関するご意見を頂戴し、今後の活動につなげていきたいと考えています。ぜひご参加ください。

おもいやりポイント制度説明会

日時: **2月17日** (月) 14時～

場所: 特別養護老人ホーム 緑風館
(広田中筋 1025-19)

内容: おもいやりポイント制度の概要
ボランティア活動例の紹介 など

台風19号義援金のお礼とご報告

みなさまからお預かりした心温まる義援金は、合計 **49,567** 円となりました。中央共同募金会を通じて全額被災地に寄付させていただいたことをご報告いたします。ありがとうございました。

ほつと一息



うるう日生まれの人はいつ歳を取るの？
「2月29日に生まれた人は4年に一度歳をとる？」…なんてことはありません。2月28日の24時をもって、うるう日生まれの人たちも歳を重ねます。しかも、それは「年齢計算に関する法律」によってしっかり定められているんです！

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp



生活支援コーディネーターだより

其ノ巻

(マケコ)

集まれ！行け MEN'S

男の人が「サロンに来ない！」などと聞かれることもあり
ますが、実は男性もいたるところで集まっておしゃべりし
ているようです。今回はそんな男性の集まる場をご紹介します！



こんなところにも!?

どうしてここに!?

第1 「行け！MEN'S」発見 福良 「足湯・うずの湯」

福良のなないろ館横に「足湯 うずの湯」があります。「男の人が毎日楽しそうに集まっておしゃべりしてるよ～」という情報があり、取材に行ってきました。実は、先日も伺いましたが、時間が来ればきちんと帰って行かれるとのことで、帰られた後だったので再チャレンジ！

決まった時間に来られると聞いていたので待っていると、1人、2人、3人、4人といつもと同じように集まってこられました。いつも集まるいつものメンバー、実は小学校の頃からの幼馴染だそうです。言いたいことも、思っていることも、いわばツーカーの仲です。「人の悪口は言わん。いつもたわいないことを言って笑う。ええことやろ！」と、昔話をしては笑い、新しい情報には耳を傾け、身近な情報の場です。歩いて来られる方、バイクで来られる方、自転車で来られる方、それぞれですが、来ないときは、心配で連絡もする。また、「明日は用事で来られへんからな」と、心配がないように伝えておくなど、日常の会話の中に共に生活していくという温かなつながりを感じました。

幼いころを一緒に過ごし、成長しそれぞれの道を歩み、老いて再び少年の顔で語あう。うらやましい話です。足もほっこり、心もほっこり、ほっこりの足湯の集いよ、いつまでも…。



第2 「行け！MEN'S」発見 湊 「シーパ・フードコート」

湊にある「シーパ」のフードコート。自動販売機があり、机といすが設置され、飲食やちょっとした休憩に利用されています。女性は三人寄れば姦しい(かしましい)といい、男性はというと、集まっておしゃべりをするのはちょっと苦手!?!の印象があります。が、午前中のここフードコートはというと、びっくりです！男性方の集いの場となっており、来た人は、それぞれに飲み物を買って話の輪に参加されます。湊地区だけではなく、津井地区からも来られ

ており、多いときは14人も集まるそうです。元々は、2、3人で休憩していた集まりが、次から次へと広がって、取材させていただいた日も11人もの方が集まり、話を楽しんでおられました。

「家に居ってもテレビの守やし、テレビからは返事も返ってこん」「ここに来たらいろんなこと教えてもらえる。病院はどこがええとか」と、趣味やら、政治やら、近所のことやら話題は豊富です。今回、私も趣味の金魚の話や日本の歴史の話をたくさん聞かせていただき、少しかしこくなって帰ってきました。「50年も一緒に居ると、話もあらへん」と言いながら、隣にあるお総菜屋さんで奥様にお昼ご飯のおかずを買うこともあるという優しい姿もありました。

そして、お昼になれば自然解散で、1人帰り、2人帰り…いつの間にか静かなフードコートへと戻ります。寄れる場所、寄って話す仲間がいるということが、生活の中での心の拠り所の一つとなっているようでした。

情報求む！

あなたのご近所にも、自然に集まっている「つどいの場」はありませんか？
情報があれば社協まで。

